

葬儀の現場から ～一般葬と家族葬～

近年、「総活」というワードがメディアなどの影響もあり認知されてきて事前前撮りのお問合せが増加傾向にあります。その中でも良く相談を受ける「一般葬」と「家族葬」ってどういう違いがあるの？ということについてのお話をしたいと思います。

「一般葬」とは故人様が生前お世話になった職場、ご近所、お友達、ご親戚の方など範囲を限定することなくお集まりいただき故人様をお見送りする、本来のご葬儀の形です。

「家族葬」とは流れや形式に一般葬との違いはありませんが、一般のご会葬者をお断りし、ご家族やご親戚だけでゆっくりと故人様をお見送りいたします。

葬儀の現場に携わっていく中で思うことなのですが、人は一人では生きていけません。人生の中で助け合い、励まし合い、支えあって生きています。時には反発し合った人もいるかもしれませんが、必ず関わった沢山の人がそれぞれにいます。

その中には故人様が支えられお世話になった方もいれば逆に故人様に支えられた方もいます。しかし、意外とご家族が故人様の交友関係を把握していないケースは多いもので、連絡をしていなかった為に「最期にお別れをしたかった」「知らせてくれなかった」という声があることがあります。それは少なからずご縁があった故人様に最期のお別れや感謝を伝えたいという気持ちがあるからではないでしょうか？また葬儀を通じ「お父さんはお酒を飲んだら、いつも息子さんのことを心配していたり、お孫さんの話をよくしていたよ」などと故人様のご友人からそういったエピソードや、ご家族の前ではあまり見せない姿を聞くことが実際にあったと聞きます。

そのような場合は、葬儀時にお話ししなければ中々聞くことはできません。人生最期の儀式である「葬儀」をどのように執り行うかを最終的に決定できるのはご遺族にしかできないことです。

故人様と縁を結ばれていた大切な方へのお声がけの範囲について今一度考えられてみてはいかがでしょうか。



戸田直記

あしがき

昔の月の呼び方には素敵な響きが多く、意味を知ると「なるほど!」となる事が多いです。例えば2月は昔の月の呼び方で「如月(きさらぎ)」と読むのですが中国での2月の呼び方「如月(にょげつ)」の漢字に寒さが厳しすぎるので服を更に重ね着する月……「衣」を「更」に「着」る=きさらぎをあてたのではないかという説があります。

目頃ふと目にする文字の中に意味が隠されている事が分かった時、宝物を見つけたような気持ちになるのです。やはり色々な事に興味をもって調べるといのは大切な事だと思った今日この頃でした。



出口秀美

スタッフ コラム

春分の日も目前に控え、お彼岸の時季となりましたね。お彼岸と言えは家族でお墓参りですが、実はそれ以外にもすべきことがある行事だと知っていましたか？

お彼岸は春は春分、秋は秋分の日を真ん中に、前後3日間を含めた7日間の期間のことを言います。この7日間のうち中日にあたる春分、秋分の日にはお墓参りを、残りの6日間は悟りを開くための6つの教えを実践するのがよいとされています。6つの教えとは…

- ① 布施 (ふせ) 他人に何かを施すこと
- ② 持戒 (じかい) 決まり事を守ること、心を戒めること
- ③ 忍辱 (にんにく) 物事に憤らず、投げ出さず、耐え忍ぶこと
- ④ 精進 (しょうじん) 怠けずに努力すること
- ⑤ 禪定 (ぜんじょう) 心を静かに保つこと
- ⑥ 智慧 (ちえ) 5つの教えを実践し、悟りへ至る智慧を得ること

これを六波羅蜜(ろくはらみつ)といいます。春分、秋分の日には昼と夜の長さがほぼ等しく、太陽も東から西へ一直線に移動します。そのため、この世とあの世、此岸と彼岸がもっとも通じやすくなる日と考えられています。その自然の流れに、ご先祖様の訪いだご縁に思いを馳せ、仏様がいらっしゃる彼岸に少しでも近づけるよう六波羅蜜の修行をするための期間、それがお彼岸に当たるのです。

今年の春のお彼岸は3月18日から24日までです。六波羅蜜を実践してみようと思う私ですが、その響きから『あんみつ』や『みつ豆』を連想してしまい、どうしてもお腹が減ってしまうのでした…。



伊藤沙由貴

はなだより～セツブンソウ～

2月といえば暦の上では春の節目となる「節分」。豆まきをしたり、恵方巻を食べたり開運を願いますね。節分は暦の上では春の節目になる日、春の始まりです。この時期に春を先取りしてくれるセツブンソウという花が咲くんですよ！あまり知られていない「節分草(セツブンソウ)」についてご紹介いたします！



どんな花？

節分草(セツブンソウ)はキンポウゲ科の多年草です。主に関東より西の地域に分布しています！主に石灰岩地の樹林内に群生します。
花の高さ⇒10cm前後
花の大きさ⇒2cm程
開花時期は2月～3月で、節分の時期に花が咲くことが名前の由来です。

絶滅危惧種

節分草を知らない、見たことないという方が多いと思います。環境省より絶滅危惧種に指定されている植物で、環境の悪化によっては絶滅の可能性があるので…貴重なお花です、見かけても眺めるだけにしましょう！

花言葉

節分草の花言葉は、節分草の特徴を表しています。

【気品】……2～3月に開花して、6月ごろには茎が枯れて休眠期に入ります。
見ることができるのは期間が4ヶ月くらいと短い様子から。

【光輝】……「美しく光り輝く」という意味
そこから転じて「伝統ある・名誉ある」という意味があるそうです。気品の意味と合わせて、節分草の特徴を表しています。

【人間嫌い】…「気品」と同じく、短い期間しか見れないことから、さっと枯れて地面に逃げてしまう、ということを表しています。

野に咲く美しいセツブンソウ、優しく見守りましょう。店頭で見かけるお花以外にも素敵なお花はたくさんあります！「はなだより」が、いろんなお花について知るきっかけになると嬉しいです。

フラワースペースデザイン部

お問い合わせ
資料請求

フリーコール
0120-44-5880

お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。

365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中!!

◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全てのお見積もりをお客様に提示いたします。
◆ご予算に合わない場合は、ご予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

ドリーマーの
葬儀費用